

# 2009年2月25日

# ப்பிறிஞ்தே が近り通信為

おとなも子どももいっしょに育つ町にしよう

# 「市役所建設場所を選ぶ住民投票条例」の否決は、 「市民参加条例」の精神に反しています。

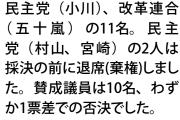
10,252名の市民の直接請求による「市役所建設場所 を選ぶ住民投票条例」に対し、市長は反対意見を付して 市議会に提案、1月22日の臨時議会は1票差でこれを葬 りさりました。小金井市には、市政やまちづくりへの市民 の積極的な参加を推進するための「市民参加条例」が あります。その前文では「市政の主役は、市民です」と 宣言されています。条例は住民投票を市民参加の重要な 方法として位置づけ、「手引き」には「大規模な公共施 設は市民投票に付することが適当」と記されています。

市庁舎という、市民にとって最も大切な公共施設につ いて、市民自らが意見を出し合い、意思を示すことは、 きわめて重要です。10,252名の市民が求める住民投票 を実施し、市民の声を聞くことこそ、民主主義の第一歩 です。市民参加条例に関連する漢人あきて議員の質問に、 市長が答弁できず、議会が空転したのは、市民参加条 例への理解がまったくなかったことの表れです。

## 住民投票を推進する議員を増やそう

今回の住民投票に反対したのは自民党(中根、伊藤、 露口、遠藤、高木)、公明党(鈴木、和田、紀、宮下)、

> 議員が一人変わ ると、町も変わる んだよね。



市民参加条例の精神を理 解できない議員が過半数も いるのは、とても残念なこと です。3月29日の市議会選 挙では、市民参加や住民投票を大切にする議員を1人で も多く当選させることで、市議会を変えていきましょう。

## 常設型の住民投票条例を制定しよう

市民参加条例では、第16条で住民投票について位置 づけています。しかし、残念ながらその内容は定められ ていません。その不十分さが、今回の市長、市議会の 無理解と否決につながったと思います。常設型の住民投 票条例を制定し、主要な公共施設の建設などは住民投 票に付すること、在住外国人を含む市民の10分の1以上 の求めがあった場合、実施すること、そしてその結果は 尊重することを明確に規定すべきです。

### 市庁舎のあり方も検討されるべき

市庁舎問題については、長年にわたって市の方針が二 転三転し、いまだ解決の展望を見出せないまま税金が浪 費され続けていることに、市民は苛立ちを募らせてきまし た。そして、駅前庁舎建設に対する疑問が、今回の住民 投票の直接請求につながったといえます。

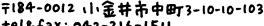
私たちは、市庁舎を再開発第2地区に建設することに はもちろん反対です。しかし、市庁舎問題は、「どこに建 てるか」という場所の問題だけではありません。市政が 身近で、使いやすい市役所のあり方なども、多角的に検

討すべきです。庁舎 問題を市民参加で解 決していくための市庁 舎検討委員会の設置 を望みます。(片山か おるといっしょにかえ る小金井の会)



# 片山かおると

いっしょにかえる小金井の会



tel&fax: 042-316-1511

e-mail: office akatayamakaoru.net http://katayamakaoru.net

片山かおるプロフィール

1966年12月長崎県生まれ。4才から杉並区で育つ。

1995年より小金井市在住。中1と小4の男の子たちとパートナー、猫たちと前原 町に暮らす。8ミリ映画制作。個人・実験映画を配給。

小金井子育て交流会「す~ぷ」、つくろう! 子どもの権利条例の会、8mmFILM 小金井街道プロジェクトなどに参加。「教育ってなんだろう?」こがねい連絡会 世話人、武蔵野はらっぱ祭り実行委員会事務局、One's Eyes Film代表、市民 自治こがねい運営委員



### 片山かおるの市政 Watching!

# ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 八年かかって「子どもの権利に関する条例」制定へ!

「小金井市子ども条例案」は、『小金井市子どもの権利に関する条例』と名称が元通りになり、2月12日の厚生文教委員会で可決されました!! 3月3日の本会議で採択されれば、子どもの権利を全面にとらえた、多摩地区初ともいえる条例が制定されます。市民からの陳情が採択されてから、およそ8年がかりでようやくできあがった条例です。

これまで、策定委員会開催中の傍聴、傍聴の呼びかけ、条例づくり市民会議への参加、条例案読み合わせ会、パブリックコメント、部局への要望書と懇談、PTA連合会での子どもの権利講演、公民館での子どもの権利のアニメーション(ライツ・フロム・ザ・ハート)上映や子どもの人権講座、勉強会、数え切れない情報公開請求、議会ごと



の陳情提出などなど、条例制定にむけて、さまざまなアプローチをおこなってきました。 答申された条例案からはかなり離れたものになってしまったので、制定されたあとど のように運用していくかが課題です。それでも今だけは、長く苦しかった活動を思い起 こしながら、条例制定に関わった仲間たちと「やっとできた!」という感慨にふけって いるところです。

# 衛生研説明会に参加しました・

2月13日と21日に、国立医薬品食品衛生研究所(衛生研)の説明会が開催されました。府中市浅間町の米軍基地跡地に移転してくる計画です。腸チフス菌、結核菌、Q熱リケッチアなど非常に危険度の高い病原菌を取り扱うP3(P= Physicalの略、「物理的封じ込め」を示す指数)施設も含む建設計画などが説明されました。

しかし、なぜ、府中に移転しなくてはならないのか、また、フィルターを通して排気する空気が安全なら、なぜ施設内に環流せず、強制的に外に排気するのか、といった疑問は残ったままでした。P1、P2施設で扱う病原菌がいったいどのようなものなのか、どのくらいの予算をかけて移転してくるのか、といったことも不明です。遺伝子組み換え実験をすることにも疑問が残ります。



移転地から近い地域の住民の中には、移転計画を知らない人も多いので、さらなる説明会と市から の広報を求めたいと思います。

## ・片山かおると いっしょにかえる 小金井の会

(略称:かおるの会) ・**へのお誘い**。 ~みんなで知恵を出し合って、片山かおるとともに、

これからの小金井の町づくりを考えていきましょう~

かおるの会は、「平和」「人権」「民主主義」を基本理念に、市民参加で安心 して暮らせる小金井市をつくるために活動しています。

会費は年101,000円。カンパも大歓迎!

郵便振替口座 00120-5-357785

加入者名「片山かおるといっしょにかえる小金井の会」



応援 ナ<sup>ッセー</sup>シ

牛島のり子

片山さんとはじめて出会ったのは、子どもが通っていた保育所時代の頃。その頃から、「地域の多様な人たちが子どもたちにかかわりながら育てていける……小金井をそんなまちにしたいね」という、彼女の真摯な想いを共有してきました。とにかく彼女は「すぐ動く」。議会への傍聴、都議会への請願、市議会への陳情。そして、人がやりたがらないめんどうくさい雑用も、誰も見ていないところで率先してひきうけていく人。また、年齢も立場もちがう多様な人々を巻き込んで、地域に根ざしたユニークな企画を展開し進めていくスタンスも一貫しています。今後は小金井市政を舞台に、ぜひともその力を生かして活躍してほしいと願っています。

小金井市議会議員選挙は 3月29日投票です。

市議会議員・漢人あきこと 「市民自治こがねい」も、片山かおるを応援しています